

# ICANN85 ccNSO関連報告

第75回ICANN報告会  
2026年4月23日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)  
高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

# 基本情報

- ccNSO（国コードドメイン名支持組織）
  - 正式名称：  
Country Code Names Supporting Organisation
  - ICANNにおける位置づけ
    - ICANNの活動を支える支持組織の一つ。
    - 約250のccTLDの内、約180のccTLDが参加。
    - ccTLDレジストリの連合体としてICANNの他支持組織や諮問委員会などと協調しながら、ccTLD全体にまたがるグローバルな課題についてポリシー案を作成し、ICANN理事会に勧告を行う。

JPRSは、日本を表す「.JP」を運用するccTLDレジストリとしてccNSOに参加。

※JPRSからは遠藤淳、高松百合が参加

# ccNSOに関連する主な会合

3月7日(土) ~8日(日)	ccNSOの各種Committeeの作業ミーティング及び ccNSO評議委員会準備ミーティング など
3月9日(月)	▪ Tech day
3月10日(火)	▪ ccNSO Members Meeting Welcome Session ▪ Internet Governance Session by IGLC ▪ ccNSO WG/Committee Update ▪ ccTLD Market: Trends ▪ ccTLD Market: Strategies
3月11日(水)	▪ A Casual Meet-Up for ccNSO Newcomers ▪ ccTLD News ▪ <u>Joint Session: GNSO RySG on Abuse</u> ▪ Joint session: ccNSO and ICANN Board ▪ <u>ccTLD consultation: Review of Reviews</u>
3月12日(木)	▪ <u>ccNSO Council</u>

# ①DNS Abuseに関する RySGとの共同セッション(1/2)

- 概要

- DNS Abuse対応において、ccTLDとgTLDでの違いがあることを前提に、協力の可能性を探るクロスコミュニティでの議論を定期的実施
  - RySG: GNSOのRegistry Stakeholder Group
- ICANN85でのアジェンダ
  - RySGメンバによるGNSOで開始したAbuse PDP1の紹介
  - ccTLDでの取組事例紹介
    - レジストリ自身が判断主体となり対応するモデル(.rs/セルビア)
    - CERTや法執行機関等での判断に基づき対応するモデル(.id/インドネシア)
  - ccNSOからAbuse PDP1への参加メンバ紹介
  - 意見交換

# ①DNS Abuseに関する RySGとの共同セッション(2/2)

- AbusePDP1について
    - PDP(ポリシー策定プロセス)での検討内容
      - あるドメイン名でDNS Abuseが確認された場合に、同じ登録者に紐づく(関連する)他のドメイン名を調査対象にするか
      - レジストラにその調査を義務として課すか
    - ccNSOからAbusePDP1への参加メンバ(写真左から)
      - Member(意思決定に関与する参加者):
        - Eberhard W. Lisse (.na)
        - Nick Wenban-Smith (.uk)\*
      - Alternate(Memberの代理要員)
        - Bruce Tonkin (.au)\*
      - Participant(発言権はあるが決定権はない参加者)
        - Diego Ernesto Luna Quevedo (.co)\*
- ※「\*」の3名は、ccNSOのDNS Abuse Standing Committeeのメンバ



出典: ICANN85 ccNSO-RySGセッション(Zoom録画より)  
<<https://icann85.sched.com/event/2GwnP>>

## ② ICANNの取組みやポリシーの レビューに関する議論(1/2)

### • 背景

- ICANNは、定款上、定期的にICANN自身のミッションや組織構造などをレビューすることが定められている
- 現行のレビューにおける課題(持続可能性への懸念)
  - レビュー対象の数やかかるコストの増大
  - ボランタリーな取り組みへの依存
- 2025年5月、ICANN理事会が新しいレビュー制度の設計をICANN Orgに指示
  - 何をレビューするかについてコミュニティの対話を通じた共通理解形成を目指すことに
- 2025年9月、活動を牽引する、SO/AC横断的なグループのReview of Reviews Cross-Community Group (Reviews CCG)が2025年9月に組成

## ② ICANNの取組みやポリシーの レビューに関する議論(2/2)

### • ICANN85での動き

- 提案の最終化に向け、Reviews of CCG の作成したレビュー体系案(レビューの周期、対象、アプローチなど)案を説明するとともに、意見交換を実施
- レビュー体系案自体よりも、レビューそのものに対する意見が複数見られたが「現行のレビューは持続不可」であるとの共通認識が参加者間で得られた
  - レビューの負担が重すぎる
  - レビューした成果が見えない
  - レビュー結果の対応が追いついていない(終わる前に次のレビューが始まる)

⇒ ccNSOの意見としてReviews CCGにインプットを行い、最終化を行う

## ③ ccNSO 執行部の新体制

- ICANN85で5名（AP/AF/EU/LAC/NAの各地域より1名）の評議委員が任期満了。3地域が交代した。

地域	旧	新
北米 (NA)	Stephen Deerhake (.as)	Charles Noir (.ca)
ラテンアメリカ&カリブ (LAC)	Alejandra Reynoso	Alejandra Reynoso
アジア太平洋 (AP)	Ai-Chin Lu	Sami Mohamed Ali (.bh)
ヨーロッパ (EU)	Chris Disspain	Chris Disspain
アフリカ (AF)	Molehe Wesi (.za)	Grace Ingabire (.rw)

### – ChairおよびVice Chair2名全員が再任

- ChairおよびVice Chairは評議委員会内で互選

Chair	Vice Chair	Vice Chair
Alejandra Reynoso (.gt: グアテマラ)	Jordan Carter (.au: オーストラリア)	Adebiyi Oladipo (.ng: ナイジェリア)
		

